

体育科学習指導案

1. 単元名

球技 種目選択授業 (バレーボール・バドミントン)

2. 単元の見積

- ・バレーボールやバドミンツンの特性に関心を持って意欲的に学習に取り組み、互いに協力して練習やゲームに取り組みようとする。
また、勝敗に対して公正な態度をとり、健康や安全に留意して学習を進めようとする。 (運動や健康・安全への関心・意欲・態度)
- ・チームや自己の能力にあった課題をもち、課題解決を目指して練習方法やゲームの仕方を工夫する。
(運動や健康・安全についての思考・判断)
- ・種目の特性に応じた個人的技能を高め、集团的技能を身につけて相手に対応したゲームができる。 (運動の技能)
- ・種目の特性や練習方法を理解するとともに、ルール及び審判の方法を身につける。 (運動や健康・安全についての知識・理解)

3. 指導に当たって

(1) 教材について

バレーボールはネットをはさんで相対する2チームが、主に手や腕を使ってボールを床に落とすことなく打ち合って得点を競いあう集团的スポーツである。比較的簡単なルールでゲームを実施でき、チーム全員がボールに触れるチャンスがあり、チームで協力して攻撃や防御を工夫して楽しむことができる。また、バドミンツンはネットをはさんで1対1、あるいは2対2でラケットを使ってシャトルを床に落とすことなく打ち合って得点を競い合う個人的スポーツである。初心者でもそのレベルに応じてゲームを実施でき、また、個人でプレーすることを基盤として、チームを組んで団体戦を楽しむことができる。バレーボール、バドミンツンともに相手とラリーが続くこと自体に楽しさを味わうことができる。そして、技能が向上することにより相手の取れない場所や変化をつけて打つことにおもしろみを感じるようになるようになり、スパイクやスマッシュを決めたいとの意欲もわいてくる。

(2) 生徒について

男子9名、女子11名がバレーボールを選択し、男子10名、女子6名がバドミンツンを選択している。体育の授業を楽しみにしており、授業に意欲的に参加している。なかでも球技を特に好み、1年次の授業でもバレーボールやバドミンツンは運動を比較的苦手としている生徒も楽しそうに取り組んでいた。しかし、これまでの球技の授業を見ていると、ゲームをすること自体に楽しみを感じている生徒が多く、技能の向上を目指したい、もっと高い技術を身につけたいという課題を持って練習し、ゲームに生かしたいという欲求を持って授業に取り組むまでにはいたっていない。

(3) 指導について

生徒が自己の能力・適性、興味・関心に応じた種目を選択する学習を展開することで、個人やチームの課題解決に取り組み、技能の習得に応じてゲームの楽しみ方を工夫し、種目の特性を深く味わわせたい。前半では「個人の技能を高めゲームを楽しむ」ことをねらいとして、ラリーが続くことの楽しさを味わいながら個人的技能の向上をはかりたい。そして、後半では「チームとしての技能を身につけてゲームを楽しむ」ことをねらいとして、相手コートにボールやシャトルを落とすための工夫をし、スパイクやスマッシュへとつなげていきたい。また、ゲームにおいてはルールを簡素化、拡大解釈することでゲームの楽しさを味わいながら、グループで協力して練習方法を考えたり、工夫したりしながら個人的技能や集团的技能の向上を目指す授業をすすめていきたい。

個人やチームの課題解決のためには学習資料や教師の助言は大切であるが、それ以上に仲間とのかかわりの中で教え合い、協力し合う活動がより有効であると考えられる。そのためにも、チーム全員が上手になりたいと思う気持ちの大切さを意識づけ、互いに話し合い、伝え合う活動を大切にしていきたい。

4. 単元の指導と評価の計画

次	時数	目標及び学習内容・活動	評価規準と評価方法
一	①	◎バレーボールやバドミントンの特性や練習方法を理解し、これからの学習に関心を持って取り組む。 1. バレーボール、バドミントンの特性や歴史を知る。 2. 学習のねらいを知り、授業の進め方や約束事を知る。 3. 選択種目を決定し、グループをつくりと係分担をおこなう。 4. 学習カードの使い方を知り、自己やチームの目標を決定する。	◎バレーボールやバドミントンの特性に関心を持ち、すすんで学習しようとする。(関・意・態) 【①で評価】 【プリント・発言】
二	① ② ③	◎自己の技能に応じて練習を工夫し、ゲームを楽しむ。 1. 本時の課題を知り、学習内容を確認する。 2. 各チームで個人的技能を高める練習をする。 【バレーボール】 ・アンダーハンドパス、オーバーハンドパス、サービス 【バドミントン】 ・アンダーハンドストローク、オーバーヘッドストローク サービス 3. 練習した個人的技能をゲームの中で発揮できるようにする。 ・バレーボールは3対3、バドミントンは2対2でスパイクやスマッシュなしでラリーが続くゲームを楽しむ。 4. ゲームを振り返り、反省と課題を話し合う。 ・学習カードを使い、授業の振り返りをする。	◎自己の課題を明確にし、その解決を図るための手立てを考える。(思・判) 【②～③で評価】 【学習カード】 ◎それぞれの種目の楽しさや喜びが味わえるようにすすんで練習やゲームに取り組もうとする。 (関・意・態) 【①・②で評価】 【学習カード・行動観察】 ◎練習場の安全を確かめる、危険なプレーをしないなど、自他の安全に留意しようとする。(関・意・態) 【①で評価】 【行動観察】 ◎それぞれの種目の特性に応じた個人的技能を高めることができる。(技) 【③で評価】 【実技観察】
三	① ② ⑤	◎チームの技能を高める練習を工夫し、ゲームを楽しむ。 1. 本時の課題を知り、学習内容を確認する。 2. 各チームで集団的技能を高める練習をする。 【バレーボール】 ・スパイク、フェイント、パス攻撃 ・フォーメーション 【バドミントン】 ・スマッシュ、プッシュ、ヘアピン ・フォーメーション 3. 練習した集団的技能をゲームの中で発揮できるようにする。 ・バレーボールは3対3、バドミントンは2対2でスパイクやスマッシュ等を使って攻撃を意識したゲームを楽しむ。 4. ゲームを振り返り、反省と課題を話し合う。 ・学習カードを使い、授業の振り返りをする。	◎ゲームにおける課題を明確にし、練習内容や方法を工夫する。(思・判) 【①・②で評価】 【学習カード】 ◎チームで協力して教え合い、助け合ってすすんで練習やゲームに取り組もうとする。(関・意・態) 【③～⑤で評価】 【学習カード・行動観察】 ◎ルールを守り、審判の判定に対して公正な態度でゲームをおこなおうとする。(関・意・態) 【④・⑤で評価】 【行動観察】 ◎それぞれの運動種目において集団的技能を高め相手に対応したゲームができる。(技) 【④・⑤で評価】 【実技観察】
四	①	◎学習活動を振り返り、今後の学習に生かそうとする。 1. 学習活動を振り返る。 ・アンケートの記入や授業の感想をまとめる。 ・自己評価や相互評価をおこなう。 2. ルールや用語、審判の方法について確認のテストをおこなう。	◎自己の学習活動を振り返り、今後の学習にいかそうとする。(関・意・態) 【①で評価】 【感想文】 ◎学習全般に対して適切に振り返り評価する。 (思・判) 【①で評価】 【評価カード】 ◎競技の運営の仕方、ルールや審判の方法を理解している。(知・理) 【①で評価】 【プリント】

5. 本時の指導（第三次5時間扱いの3時間目）

(1) 目標

・チームの課題を解決するために、教え合い、助け合って協力し、練習やゲームができる。

(2) 評価規準

・チームで教え合い、助け合って練習やゲームに取り組もうとする。（関心・意欲・態度）

(3) 準備 学習カード、デジタイマー、得点板、コーン

(4) 展開

段階	学 習 内 容 ・ 活 動	教師の支援 (○) 及び評価 (◎) と留意点 (・)
導 入 10 分	1. 集合し、あいさつをする。 2. チームごとに分かれ準備運動をする。 3. チームごとに個人的技能の練習をする。 ・バレーボールはアンダーハンドパスやオーバーハンドパスで、バドミントンはアンダーハンドストロークやオーバーヘッドストロークでラリーを続ける。	・欠席者や見学者を確認し、見学者に指示を与える。 ・リラックスして、体を十分にほぐすことができるように音楽をかけておこなう。 ・班で協力して練習がおこなわれているかを観察する。 ・ラリーの本数を数えたり、教え合ったりする声を出す等、元氣よく活動できるようにする。
展 開 32 分	4. 本時の学習課題を確認する。 チームで協力し、相手コートにボールを返そう。 5. チームごとに課題解決のための練習をする。 予想される活動例 【バレーボール】 ・スパイクやフェイントの練習 ・レシーブやトスを正確にあげる練習 ・チャンスボールやサーブからの3段攻撃の練習 【バドミントン】 ・スマッシュやプッシュの練習 ・各ストロークを打ち分ける練習 ・サーブやサーブレシーブから攻撃の練習 6. チーム対抗でゲームをする。 ・一試合4分のゲームを3試合する。 ・バレーボールは3対3、バドミントンは2対2でおこなう。 ・得点係とラインズマンの役割を分担する。	・一人ひとりが学習課題を把握し、チームの課題を意識して取り組めるようにホワイトボードに提示する。 ・チームのプレーをみて声をかけあえるように技能のポイント等を掲示しておく。 ◎チームで協力し教え合い、助け合って練習やゲームに取り組もうとする。(行動観察) ○互いに教え合う活動ができているか、技能の向上を目指して適切な練習をしているかを観察し、できていないチームは練習を中断し、もう一度課題を確認させる。 ○生徒どうしのよい関わり合いをほめるとともに全体にも紹介する。 ・ゲームの運営や交代がすばやくできるように指示する。 ○学習課題を意識してゲームに取り組み、練習したことを発揮できた時にチーム全員で喜べるように約束する。 ・ゲームの中ですばらしいプレーをほめるとともに、練習したことをいかすことができるように声をかける。
整 理 8 分	7. 本時の反省と、次時の課題の確認をする。 チームで教え合い、助け合えば集団技能が高まり、相手コートにボールを返せる。 8. 挨拶、かたづけをする。	・本時を振り返り、評価がしっかりできるよう助言する。 ・チームとしての次時の課題を話し合う時間を確保する。 ・けがや体調をくずした生徒がいなかったかを確認する。 ・全員で協力してかたづけができるように指示する。